

解剖学 [系統解剖学]

担当講座（分野）：解剖学講座（機能形態学分野）

第2学年 前期・後期

	講義	実習
前期	54 時間	21 時間
後期	30 時間	114 時間

学習成果（アウトカム）

ヒトの体の構造を理解するのを目的とするが、単に教科書に載っている名称の暗記に終わることなく、常に実習を主体とすることにより、形態の普遍性と変異を三次元的に理解し、形態の意義とその構造が存在する理由を個体発生的・系統発生的に理解できるようになる。さらに、歯科医師として歯科疾患の治療を行うに際し、局所解剖学的な知識は必要不可欠であるため、臨床上必須な構造の理解と応用力を実習を通して修得する。

事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月5日(火) 3限	藤村朗教授	解剖学概論 解剖学用語 医学の中における解剖学の足跡と身体の方角用語、解剖学名を理解する。	1. 身体を構築する各器官系について説明できる。 2. 人体の基準単位を説明できる。 3. 変異と以上の相違を説明できる。 4. 身体の方角用語を説明できる。 5. 身体の解剖学名を説明できる。
4月12日(火) 1限	藤村朗教授	骨学概論 骨の肉眼的構造と関節を理解する。	1. 骨の2つの形成様式の相違を説明できる。 2. 骨の肉眼的構造を説明できる。 3. 関節の構造と運動を関連して説明できる。 4. 骨年齢を説明できる。 5. 骨の2つの形成様式の相違を説明できる。 6. 骨の肉眼的構造を説明できる。 7. 関節の構造と運動を関連して説明できる。 8. 骨年齢を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月15日(金) 1限	藤村朗教授	骨学：椎骨・肋骨 椎骨の基本的な形態と脊柱としての機能を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 椎骨の基本構造が説明できる。 2. 各椎骨の特徴を説明できる。 3. 椎骨の彎曲と体重支持の関連性について説明できる。 4. 肋骨の連結と胸郭の構造を説明できる。
4月19日(火) 1限	藤村朗教授	骨学：上肢骨 四肢骨の基本としての上肢骨の構成を理解する。荷重を支える構造を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上肢帯を構成している骨を列挙できる。 2. 肩甲骨の形態と他の骨との関節を説明できる。 3. 鎖骨の形態と他の骨との関節を説明できる。 4. 上腕骨の形態と特徴を説明できる。 5. 肘関節の構造を説明できる。 6. 橈骨と尺骨の形態と、それらの違いを説明できる。 7. 手根骨とその化骨年齢を説明できる。 8. 中手骨と指骨との違いを説明できる。
4月19日(火) 2限	藤村朗教授	骨学：下肢骨・骨盤 上肢骨を基に我々が直立二足歩行を行うことにより下肢がどの様に変化したかを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下肢骨の基本構造が説明できる。 2. 寛骨の構造を説明できる。 3. 大腿骨の特徴を説明できる。 4. 下腿骨の特徴を説明できる。 5. 足骨の特徴を説明できる。 6. 脊椎との連結と骨盤の構造を説明できる。 7. 股関節の特徴を説明できる。 8. 膝関節と体重支持の関連性を説明できる。
4月22日(金) 1限	安藤禎紀講師	骨学：頭蓋冠 頭蓋骨を構成する骨を理解し、それぞれの縫合と形成を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭蓋骨の基本的配列を説明できる。 2. 頭蓋骨相互の関節(縫合)を説明できる。 3. 縫合の加齢変化を説明できる。
4月26日(火) 1限	安藤禎紀講師	骨学：内・外頭蓋底 頭蓋骨を構成する骨を理解し、それぞれの縫合と形成を理解する。 エックス線写真の読影にかかわる骨学を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳頭蓋を説明できる。 2. 内頭蓋底の神経、血管の通路を説明できる。 3. 外頭蓋底の特徴を説明できる。 4. 外・内頭蓋底の関連性を説明できる。 5. 頭蓋底を区分して説明できる。 6. 頭蓋骨の基準平面を説明できる。 7. 頭蓋骨計測点を説明できる。
4月26日(火) 2限	安藤禎紀講師	骨学：頭蓋前面 眼窩・鼻腔 分離骨、連骨を用いて顔面骨・眼窩の構築を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 眼窩と交通する経路および通過する構造物を説明できる。 2. 頭蓋腔と交通する経路および通過する構造物を説明できる。 3. 鼻中隔を構成する骨を説明できる。 4. 鼻腔を構築する骨の位置関係を説明できる。 5. 鼻甲介と鼻道を関連的に説明できる。 6. 副鼻腔について説明できる。 7. 副鼻腔の鼻腔への開口部を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
5月6日(金) 1限	安藤禎紀講師	骨学：口蓋・翼口蓋窩 分離骨、連骨を用いて顔面骨・翼口蓋窩の構築を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 翼口蓋窩と周囲腔の交通を説明できる。 2. 頭蓋腔と交通する経路および通過する構造物を説明できる。 3. 骨口蓋の構造と接続を説明できる。
5月13日(金) 1限	安藤禎紀講師	骨学：上顎骨 上顎骨の形態と上顎神経の経過を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭蓋骨における上顎骨の位置を説明できる。 2. 上顎骨と接合する骨を説明できる。 3. 口蓋の構成を説明できる。 4. 鼻腔の構成について説明ができる。 5. 上顎の歯の植立を説明できる。 6. 上顎洞について説明ができる。 7. 上顎歯に分布する神経の経路が説明できる。
5月17日(火) 1限	安藤禎紀講師	骨学：下顎骨・舌骨 下顎骨の形態と筋肉の付着、下歯槽神経の分布を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 咀嚼筋の付着部位を説明できる。 2. 顎関節の構造を説明できる。 3. 舌骨上筋の付着部位を説明できる。 4. 下顎の歯の植立を説明できる。 5. オトガイの存在理由を説明できる。 6. 下顎の歯に分布する神経の経過を説明できる。 7. 頬筋ならびに頬棚について説明できる。 8. 臼後隆起と臼後三角の関連について説明できる。
5月17日(火) 2限	安藤禎紀講師	骨学：側頭骨 側頭骨の基本的な形態と鼓室と機能を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 側頭骨基本構造が説明できる。 2. 顔面神経管の特徴を説明できる。 3. 鼓室の特徴を説明できる。 4. 側頭骨の管、孔を通過する神経を説明できる。
5月20日(金) 1限	安藤禎紀講師	骨学：蝶形骨 蝶形骨の形態と孔、裂を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 蝶形骨の基本構造が説明できる。 2. 側頭骨、蝶形骨の接続を説明できる。 3. 蝶形骨の管、孔を通過する神経を説明できる。
5月24日(火) 1限	藤村朗教授 安藤禎紀講師	骨学：骨学のまとめ 到達度試験	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全身の骨を列挙できる。 2. 各骨の連結、関節を説明できる。 3. 頭蓋骨の連結を説明できる。 4. 孔、裂等の通過構造物を説明できる。 5. これまでの講義の内容を確実に理解する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
5月24日(火) 2限	藤村朗教授	筋学概論 筋学：体幹 運動器としての筋肉の特性、推進軸と筋肉の配列を理解する。 運動器としての筋肉の特性、推進軸と筋肉の配列を理解する。 体幹の筋肉の特徴を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 骨格筋の基本配列を説明できる。 2. 背側筋群と腹側筋群の違いを説明できる。 3. 筋の起始と停止を説明できる。 4. 筋の作用について説明できる。 5. 筋の補助装置を説明できる。 6. 体幹の筋肉を区分できる。 7. 脊柱起立筋を説明できる。 8. 胸腔を囲む筋肉を説明できる。 9. 腹腔を囲む筋肉を説明できる。 10. 胸腔と腹腔を構成する筋肉を説明できる。
5月27日(金) 1限	藤村朗教授	筋学：上・下肢の筋肉 運動器としての筋肉の特性、推進軸と筋肉の配列を理解する。 上肢と下肢の筋肉の特徴を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上肢帯の筋肉を説明できる。 2. 自由上肢の筋肉を説明できる。 3. 主動筋と拮抗筋の働きを説明できる。 4. 下肢帯の筋肉を説明できる。 5. 自由下肢の筋肉を説明できる。 6. 上肢と下肢の筋肉の違いを説明できる。
5月31日(火) 1限	安藤禎紀講師	筋学：表情筋 表情筋の構造と作用を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 表情筋の構造と作用を説明できる。 2. 口裂周囲筋の構造と作用を説明できる。 3. 頬筋の構造と作用を説明できる。 4. 表情筋の総合的な機能を説明できる。 5. 表情筋の神経支配を説明できる。 6. 表情筋の栄養血管を説明できる。 7. 口角結節の構造を説明できる。
5月31日(火) 2限	安藤禎紀講師	筋学：咀嚼筋 咀嚼筋の構造と作用を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各咀嚼筋の構造と作用を説明できる。 2. 咀嚼筋の総合的な機能を説明できる。 3. 咀嚼筋の神経支配を説明できる。 4. 咀嚼筋の栄養血管を説明できる。 5. 咀嚼筋隙を区分して説明できる。
6月3日(金) 1限	安藤禎紀講師	筋学：舌骨筋 舌骨上筋と舌骨下筋の構造と作用を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 舌骨上筋の構造と作用を説明できる。 2. 舌骨下筋の構造と作用を説明できる。 3. 舌骨筋の総合的な機能を説明できる。 4. 舌骨筋の神経支配を説明できる。 5. 側頸筋の構造と作用を説明できる。
6月7日(火) 1限	安藤禎紀講師	筋学：頸筋と頸筋膜 側頸筋と頸椎筋ならびに頸筋膜の拡がりを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 側頸筋の構造と作用を説明できる。 2. 頸椎筋の構造と作用を説明できる。 3. 頸筋の神経支配を説明できる。 4. 頸筋膜を区分して説明できる。 5. 頸部の筋隙を炎症の波及の観点から説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
6月7日(火) 2限	安藤禎紀講師	筋学：顎関節（咀嚼様式・ヒトの顎関節の特徴） 顎関節の形態と進化を咀嚼様式から理解する。 ヒトの顎関節の形態を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 顎関節の特徴を説明できる。 2. 蝶番運動と関連する顎関節の形状を説明できる。 3. 臼磨運動と関連する顎関節の形状を説明できる。 4. 前後運動と関連する顎関節の形状を説明できる。 5. 複関節を説明できる。 6. 橢円関節の特徴を説明できる。 7. 複関節を説明できる。 8. 雑食性動物の顎関節を説明できる。 9. ヒトの顎関節の形態を説明できる。 10. 側方運動と顎関節の相関性を説明できる。 11. 顎関節を動かす筋肉を説明できる。 12. 顎関節の支配神経を説明できる。
6月10日(金) 1限	藤村朗教授 安藤禎紀講師	筋学：筋学のまとめ 到達度試験	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全身の筋肉を列挙できる。 2. 筋肉の起始・停止と機能について説明できる。 3. 頭蓋骨の付着部を説明できる。 4. 表情筋の機能を説明できる。 5. 咀嚼筋の機能を説明できる。 6. 咀嚼運動を説明できる。 7. 嚥下運動を説明できる。
6月10日(金) 2限	藤村朗教授	体液の循環：循環系の概論 脈管学：心臓 脈管の分類、特徴、機能を理解する。 心臓の発生、形態、機能、神経支配を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動・静脈、リンパ管の概念を説明できる。 2. 動・静脈、リンパ管の形態区別、機能の違いを説明できる。 3. 末梢部における物質透過の概念を説明できる。 4. 太さによる脈管の区分と、機能と関連付けができる。 5. 血管の発生過程における心臓の発生の特徴を説明できる。 6. 胎生循環と心臓の構造の関係を説明できる。 7. 心臓の形態学的特徴から、各部位の機能を説明できる。 8. 心臓の拍動の原理を神経支配の観点から説明できる。 9. 心臓の弁の存在する位置及び形態の違いを説明できる。
6月16日(木) 3限	中沢勝宏 非常勤講師 藤村朗教授	顎関節の構造、動きと咬合 咬合理論と顎関節の構造を臨床的に理解する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 顎関節の基本構想を説明できる。 2. 顎関節の加齢変化の特徴を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
6月16日(木) 4限	中沢勝宏 非常勤講師 藤村朗教授	顎関節の構造、動きと咬合 咬合理論と顎関節の構造を臨床的に理解する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 補綴臨床における咬合理論を挙げることができる。 2. 各咬合理論の相違点を説明できる。 3. 咬合理論に関係する顎関節の構造と機能を説明できる。 4. 咬合理論に関係する顎関節の運動を制御する機構を説明できる。
6月17日(金) 1限	藤村朗教授	脈管学：大動脈 大動脈弓の枝、胸・腹部大動脈の枝および分布領域を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大動脈弓の枝の特徴、左右の違いを説明できる。 2. 胸部大動脈の走行の特徴及び枝を説明できる。 3. 胸部大動脈と腹部大動脈の移行部について説明できる。 4. 腹部大動脈の走行及び枝を説明できる。 5. 腹部大動脈の枝の対性、不對性を説明できる。 6. 腹腔動脈の分布域を説明できる。
6月17日(金) 2限	藤村朗教授	脈管学：上下肢の動脈 上肢の動脈と下肢の動脈の相同性と分布の特徴を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鎖骨下動脈の走行の特徴を腕神経叢との関係で説明できる。 2. 鎖骨下動脈の分岐型を説明できる。 3. 腋窩動脈の区分と小胸筋の関係を説明できる。 4. 腋窩動脈の分布域を説明できる。 5. 腋窩隙との関係を神経の走行と合わせて説明できる。 6. 上腕、前腕、手に分布する動脈の走行と特徴を説明できる。 7. 総腸骨動脈の分岐位置を骨学的に説明できる。 8. 外腸骨動脈と大腿動脈の区分を説明できる。 9. 内腸骨動脈の分布域とその特徴を説明できる。 10. 殿部の栄養血管の走行と分布域を説明できる。 11. 大腿、下腿、足に分布する動脈の走行と特徴を説明できる。
6月21日(火) 1限	安藤禎紀講師	脈管学：頭頸部の動脈 内頸動脈 頭頸部の動脈の走行を理解する。 内頸動脈の走行を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部に分布する動脈を説明できる。 2. 大動脈弓から分岐する動脈の走行を説明できる。 3. 脳の栄養血管、ウィリスの動脈輪を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
6月21日(火) 2限	安藤禎紀講師	脈管学：外頸動脈の枝（上 甲状腺動脈、顔面動脈、舌 動脈）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上甲状腺動脈の分岐および走行経路を説明できる。 2. 顔面動脈の分岐および走行経路を説明できる。 3. 舌動脈の分岐および走行経路を説明できる。 4. その他の外頸動脈枝の分布および経路を説明できる。
6月24日(金) 1限	安藤禎紀講師	脈管学：外頸動脈の終枝 （顎動脈、浅側頭動脈） 顎顔面に分布する動脈の 分枝と範囲を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 顎動脈の区分および分布領域を説明できる。 2. 顎動脈の特徴と人種差を説明できる。 3. 口蓋に分布する動脈の走行経路を説明できる。 4. 伝達麻酔時の注意すべき顎動脈の走行経路を説明できる。 5. 浅側頭動脈の分岐および走行経路を説明できる。 6. 浅側頭動脈の動脈内注入法における臨床的意義を説明できる。
6月28日(火) 1限	藤村朗教授	脈管学：体液の回収経路 （静脈系） 動脈と静脈の形態的相違 点、動脈の走行との違いを 理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動脈と静脈の形態学的相違点を説明できる。 2. 動脈には認められない静脈の走行の特徴を説明できる。 3. 胎生循環における静脈の特徴を説明できる。 4. 側副循環路の皮膚直下、腹腔内における連絡を説明できる。 5. 頭蓋腔内と外との連絡を側副循環の観点で説明できる。 6. 海綿静脈洞の側副循環路としての意義を説明できる。 7. 静脈洞の特徴を説明できる。
6月28日(火) 2限	安藤禎紀講師	脈管学：頭頸部の静脈 頭頸部の回収経路として の静脈を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 内頸静脈の枝と回収域を説明できる。 2. 顎顔面の静脈の特徴を説明できる。 3. 翼突静脈叢について説明できる。 4. 頭蓋腔内と外との連絡を側副循環の観点で説明できる。 5. 海綿静脈洞の側副循環路としての意義を説明できる。 6. 静脈洞の特徴を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
7月5日(火) 1限	藤村朗教授	脈管学：体液の回収経路 (リンパ系) 動脈と静脈の形態的相違点、動脈の走行との違いを理解する。 機能としての免疫を理解し、そのためのリンパ組織、特に所属リンパ節、リンパ管構築を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 免疫の基本を説明できる。 2. リンパ球産生能を持つリンパ組織の位置、構造を説明できる。 3. 各臓器の所属リンパ節を説明できる。 4. リンパ管の機能としての吸収能を理解し、各臓器のリンパ管構築の特徴を説明できる。
7月5日(火) 2限	藤村朗教授 安藤禎紀講師	脈管学：頭頸部のリンパ管 頭頸部の回収経路としてのリンパ管を理解する。 顎顔面領域の所属リンパ節を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 顎顔面の所属リンパ節を説明できる。 2. 口腔領域の所属リンパ節を説明できる。 3. ワルダイエルの咽頭輪を構成する扁桃、リンパ節を説明できる。 4. 頭頸部腫瘍におけるリンパ管の重要性を説明できる。
7月7日(木) 1限	藤村朗教授 安藤禎紀講師	脈管学：脈管学のまとめ 到達度試験	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全身の動脈、静脈の走行と分布域を説明できる。 2. 全身のリンパの走行と分布域を説明できる。 3. 頭頸部、全身の動脈、静脈の走行と分布域を説明できる。 4. 頭頸部、全身のリンパの走行と分布域を説明できる。
7月7日(木) 2限	藤村朗教授	神経学概論	<ol style="list-style-type: none"> 1. 神経管の発生について説明できる。 2. 中枢神経の区分を説明できる。 3. 神経管と脳室について説明できる。 4. 末梢神経の基本を説明できる。 5. 末梢神経の相違を説明できる。 6. 末梢神経の分布を説明できる。 7. 脳神経と脊髄神経を区別できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月9日(金) 1限	藤村朗教授	中枢神経：脊髄、延髄・橋、小脳、中脳・間脳、終脳 中枢神経の構成と発生を理解する。 情報収集と伝達器官としての末梢神経の特性、脊髄神経と脳神経の相違を理解する。 中枢神経の構成と発生を理解する。 脊髄、延髄、橋の構造を理解する。 小脳の構造と神経路を理解する。 中脳・間脳の構造と神経路を理解する。 終脳の発生と進化を理解する。 終脳の構造と機能局在を理解する。 神経分泌を理解する。	1. 脳神経核の位置について説明できる。 2. 小脳の発生を説明できる。 3. 小脳の新、旧、原の区分を説明できる。 4. 小脳脚の構成と機能を説明できる。 5. 構成細胞の分布を説明できる。 6. 小脳核の位置について説明できる。 7. 小脳の伝導路を説明できる。 8. 中脳の発生と新旧の区分を説明できる。 9. 四丘体の構成と機能を説明できる。 10. 視覚路を説明できる。 11. 聴覚路を説明できる。 12. 大脳脚を説明できる。 13. 大脳基底核の内容を説明できる。 14. 視床の位置と機能を説明できる。 15. 神経分泌について説明できる。 16. 終脳の発生を説明できる。 17. 終脳の新、旧の区分を説明できる。 18. 内包の分化を説明できる。 19. 大脳回の構成と機能を説明できる。 20. 内包の位置と機能を説明できる。 21. 島の機能を説明できる。 22. 大脳皮質を説明できる。 23. 海馬の位置と機能を説明できる。
9月9日(金) 2限	藤村朗教授	末梢神経：脊髄神経・頸神経叢、腕神経叢 脊髄神経の特徴と頸神経叢の構成と支配領域を理解する。 腕神経叢の構成と支配領域と機能を理解する。	1. 脊髄神経の構造と特徴が説明できる。 2. 知覚神経の特徴と分布域が説明できる。 3. 運動神経の特徴と分布域が説明できる。 4. 頸神経叢の構成が説明できる。 5. 頸部の皮膚知覚を説明できる。 6. 舌骨下筋・横隔膜の神経支配を説明できる。 7. 喉頭の筋肉の神経支配を説明できる。 8. 腕神経叢の構成と支配領域を説明できる。 9. 脊髄神経の基本構造を説明できる。 10. 神経幹の枝の構成と機能を説明できる。 11. 神経束の構成と機能を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月16日(金) 1限	藤村朗教授	末梢神経：脊髄神経・腰神経叢・仙骨神経叢 自律神経 腰・仙骨神経叢の構成と支配領域と機能を理解する。 自律神経の構成と機能を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 腰神経叢の構成と支配領域を説明できる。 2. 仙骨神経叢の構成と支配領域を説明できる。 3. 下肢の神経支配を説明できる。 4. 骨盤内臓の神経支配を説明できる。 5. 腕神経叢と仙骨神経叢の相違を説明できる。 6. 神経叢と反射について説明できる。 7. 植物性器官に分布する神経を説明できる。 8. 交感神経の基本構造を説明できる。 9. 副交感神経の基本構造を説明できる。 10. 自律神経節の構成と機能を説明できる。 11. 節前線維と節後線維の相違を説明できる。 12. 交感神経幹を説明できる。 13. 自律神経の伝達物質を説明できる。
9月23日(金) 1限	安藤禎紀講師	神経学：末梢神経 (脳神経Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ、Ⅸ～Ⅻ) 脳神経Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ、支配領域と機能を理解する。 舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経と頸神経叢の支配領域と機能を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳神経の機能を説明できる。 2. 眼の筋肉の支配神経を説明できる。 3. 視覚伝達を説明できる。 4. 舌咽神経の構成と支配領域を説明できる。 5. 血圧と脈拍の調節を説明できる。 6. 副交感神経の機能を説明できる。 7. 耳下腺の神経支配を説明ができる。 8. 喉頭の筋肉の神経支配を説明できる。 9. 心臓、肺、消化器の神経支配を説明できる。 10. 舌筋の神経支配を説明できる。
9月26日(月) 3限	井出吉信 非常勤講師 藤村朗教授	咀嚼・嚥下 咀嚼・嚥下に関わる筋学を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 軟口蓋、咽頭の筋肉を説明できる。 2. 嚥下のステージと関与する舌骨上筋群の関連を説明できる。
9月26日(月) 4限	井出吉信 非常勤講師 藤村朗教授	咀嚼・嚥下 咀嚼・嚥下に関わる筋学を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 嚥下のステージと関与する舌骨上筋群の関連を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月30日(金) 1限	安藤禎紀講師	神経学：末梢神経 (脳神経 VII、VIII) 顔面神経と内耳神経の走行と機能を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 顔面神経の構成と作用を説明できる。 2. 顔面神経の経過を説明できる。 3. 副交感神経の機能を説明できる。 4. 第二鰓弓の発生と分布神経を説明できる。 5. 顔面神経の障害部位による機能障害を区分して説明できる。 6. 表情筋の神経支配を説明できる。 7. 聴覚と平衡感覚を説明できる。 8. 唾液腺の神経支配を区分して説明できる。
10月7日(金) 1限	安藤禎紀講師	神経学：末梢神経 (脳神経 V1、V2) 眼神経、上顎神経の経過と支配領域を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上顎神経の支配領域を説明できる。 2. 上顎神経の経過を説明できる。 3. 上顎神経の枝の構成と機能を説明できる。 4. 上顎神経の神経節と機能を説明ができる。 5. 口蓋の神経支配を説明できる。 6. 上顎歯の神経支配を説明できる。 7. 顔面皮膚の神経支配を説明できる。 8. 涙腺の神経支配を説明できる。
10月14日(金) 1限	安藤禎紀講師	神経学：末梢神経 (脳神経 V3) 下顎神経の経過と支配領域を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下顎神経の支配領域を説明できる。 2. 下顎神経の経過を説明できる。 3. 下顎神経の枝の構成と機能を説明できる。 4. 下顎神経の神経節と機能を説明ができる。 5. 舌の神経支配を説明できる。 6. 下顎歯の神経支配を説明できる。 7. 顔面皮膚の神経支配を説明できる。 8. 唾液腺の神経支配を説明できる。 9. 咀嚼筋の神経支配を説明できる。 10. 第一鰓弓筋の神経支配を説明できる。
10月21日(金) 1限	藤村朗教授 安藤禎紀講師	神経学：神経学のまとめ 到達度試験	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中枢神経の基本構造を説明できる。 2. 末梢神経としての脊髄神経叢の走行、分布を説明できる。 3. 自律神経の構成を説明できる。 4. 12脳神経の走行を説明できる。 5. 三叉神経、顔面神経、舌咽神経の分布領域を説明できる。
10月28日(金) 1限	藤村朗教授	内臓学：消化器 消化器系を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 消化管の基本構造を説明できる。 2. 消化管各部位の構造と機能について説明できる。 3. 肝臓、胆嚢、膵臓の構造と機能について説明できる。 4. 腹膜と腹膜後器官について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月4日(金) 1限	藤村朗教授	内臓学：呼吸器、泌尿器、生殖器 呼吸器系を理解する。 泌尿生殖器系を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鼻腔、咽頭、喉頭の構造を説明できる。 2. 気管、気管支、肺の構造を説明できる。 3. 呼吸の様式について説明できる。 4. 腎臓、尿管、膀胱の基本構造について説明できる。 5. 男性生殖器の構造を説明できる。 6. 女性生殖器の構造を説明できる。
11月11日(金) 1限	藤村朗教授	内臓学：感覚器、内分泌器 感覚器、内分泌系を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 皮膚の構造と機能について説明できる。 2. 視覚、聴覚、平衡覚に関する感覚器の構造について説明できる。 3. 内分泌器官の種類と構造について説明できる。 4. 内分泌器官から分泌されるホルモンの種類と働きについて説明できる。
11月18日(金) 1限	安藤禎紀講師	口腔内臓：口腔とは口腔粘膜 口腔の範囲を理解する。 口腔を被っている粘膜の種類と機能を理解する。 歯肉の構造、歯周組織と歯の結合を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口唇の範囲を説明できる。 2. 口腔の区分（固有口腔と口腔前庭）を説明できる。 3. 口腔、鼻腔、咽頭のつながりを説明できる。 4. 口腔の由来を説明できる。 5. 粘膜の分類を説明できる。 6. 歯肉粘膜の区分とその機能を説明できる。 7. 舌乳頭をその機能から説明できる。 8. 味蕾の存在する舌乳頭を説明できる。 9. 保護粘膜を有する口腔臓器を示すことができる。 10. 歯肉の区分を説明できる。 11. 歯周疾患罹患時の歯周組織の変化を説明できる。 12. 歯の萌出から、歯と歯肉上皮の結合を形態的に説明できる。 13. 歯肉、歯周組織の老化における変化を説明できる。 14. 人工歯根埋植時の歯周組織の変化を説明できる。
11月25日(金) 1限	安藤禎紀講師	口腔内臓：口蓋 口蓋を構成する骨、筋肉を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 硬口蓋を構成する骨を説明できる。 2. 軟口蓋を構成する筋肉の構成と支配神経を説明できる。 3. 軟口蓋の筋肉と咽頭、喉頭の筋肉との関係を説明できる。 4. 口蓋の構造と総義歯作成に関する注意点を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月2日(金) 1限	安藤禎紀講師	口腔内臓：舌、咽頭 舌を構成する筋肉、運動・知覚神経支配、味覚神経を理解する。 咽頭を構成する筋肉を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 内舌筋、外舌筋の起始、停止、機能を説明できる。 2. 舌下神経の走行経路と分布域を説明できる。 3. 知覚神経の種類と支配領域を説明できる。 4. 味覚を支配する神経の走行経路を説明できる。 5. 味覚障害と他の疾患との組み合わせにより、障害部位を特定できる。 6. 咽頭を構成する筋肉を説明できる。 7. 口輪筋との関係を説明できる。 8. 嚥下の機構を説明できる。
12月9日(金) 1限	安藤禎紀講師	口腔内臓：唾液腺 唾液腺の種類と支配神経を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 唾液腺の構造および分類を説明できる。 2. 唾液腺の神経支配を、神経の走行と障害を関連づけて説明できる。
12月16日(金) 1限	水川卓磨助教 藤村朗教授	頭部エックス線規格写真(セファログラム)と頭部計測基準点 歯科矯正、歯科放射線に関連する臨床解剖学を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭蓋骨の肉眼標本と頭部エックス線規格写真を対比し、矯正歯科的基準点を理解する。 2. 頭蓋骨の基準平面、計測点を説明できる。 3. X線セファログラムの計測点を説明できる。
1月6日(金) 1限	菊月圭吾 非常勤講師 藤村朗教授	個人識別における歯科の役割 デンタルチャートの記入項目を把握する。 照合作業の実際を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯種による形態の違いを説明できる。 2. 歯種ごとの形態と個人識別の可能性を説明できる。 3. デンタルチャートに記入できる。 4. 岩手県で開発した「36検索」をコンピュータで体験し、照合判定ができる。
1月20日(金) 1限	遠藤光宏 非常勤講師 藤村朗教授	臨床の中の解剖学 歯科臨床における解剖学の必要性について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 解剖学用語の理解とその意義を説明できる。 2. 他職種連携を視野に共通語としての解剖学用語を使って患者の臨床症状を説明できる。

彫刻実習日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月15日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師	【彫刻の方法】 石膏彫刻をすることにより、歯の形態を立体的に理解し、特に臨床では見えない歯冠と歯根の位置関係を想像できるようになる。 【上顎中切歯】 上顎中切歯の形態を理解する。	1. 石膏操作が行える。 2. 歯の方向を示す用語が説明できる。 3. 歯の構造を示す用語が説明できる。歯のスケッチが行える。 4. 上顎中切歯の形態が説明できる。 5. 切歯の左右側識別点を説明できる。 6. 上顎中切歯を立体的に把握できる。 7. 情報伝達の手段として上顎中切歯の形態が描ける。
4月22日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師	【上顎中切歯】 上顎中切歯の形態を理解する。	1. 上顎中切歯の形態が説明できる。 2. 切歯の左右側識別点を説明できる。 3. 上顎中切歯を立体的に把握できる。 4. 情報伝達の手段として上顎中切歯の形態が描ける。
5月6日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師	【上顎犬歯】 上顎犬歯の形態を理解する。	1. 上顎犬歯の形態が説明できる。 2. 犬歯の左右側識別点を説明できる。 3. 上顎犬歯を立体的に把握できる。 4. 情報伝達の手段として上顎犬歯の形態が描ける。
5月13日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師	【上顎第一小臼歯】 上顎第一小臼歯の形態を理解する。	1. 上顎第一小臼歯の形態が説明できる。 2. 上顎第一小臼歯の左右側の鑑別点を説明できる。 3. 上顎第一小臼歯を立体的に把握できる。 4. 情報伝達の手段として上顎第一小臼歯の形態が描ける。
5月20日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師	【上顎第一大臼歯】 上顎第一大臼歯の形態を理解する。	1. 上顎第一大臼歯の形態が説明できる。 2. 上顎第一大臼歯の左右側識別点を説明できる。 3. 上顎第一大臼歯を立体的に把握できる。 4. 情報伝達の手段として上顎第一大臼歯の形態が描ける。
5月27日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師	【下顎第一小臼歯】 下顎第一小臼歯の形態を理解する。	1. 下顎第一小臼歯の形態が説明できる。 2. 下顎第一小臼歯の左右側を説明できる。 3. 下顎第一小臼歯を立体的に把握できる。 4. 情報伝達の手段として下顎第一小臼歯の形態が描ける。
6月3日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師	【下顎第一大臼歯】 下顎第一大臼歯の形態を理解する。	1. 下顎第一大臼歯の形態が説明できる。 2. 下顎第一大臼歯の左右側を説明できる。 3. 下顎第一大臼歯を立体的に把握できる。 4. 情報伝達の手段として下顎第一大臼歯の形態が描ける。

臨床解剖実習日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月13日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 枡一毅助教	オリエンテーション §1 くび・胸・腹部の体表観察と皮切 §2 広頸筋と乳腺 §3 胸腹部の皮静脈と皮神経	
9月14日(水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 枡一毅助教	§4 大胸筋と外腹斜筋 §5 頸神経叢の枝と胸鎖乳突筋	
9月16日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 枡一毅助教	§6 背なかの皮切り §7 背なかの浅筋	
9月20日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 枡一毅助教	§8 くびのやや深層 §9 胸部の深層と腋窩 §10 鎖骨下動静脈とその枝 [D]§73 顔の浅層(~11/13)	
9月21日(水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 枡一毅助教	§11 うでの皮切りと腕神経叢 §12 上腕屈側の筋と神経	

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月23日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 枡一毅助教	§13 肩甲骨の前面の筋 §14 上腕伸側と肩甲骨背 面の筋 §15 上肢の切り離し	
9月27日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 枡一毅助教	§16 前腕屈側の浅い層 §18 手のひらの皮切りと手 掌腱膜 §19 手のひらの浅い層	
9月28日(水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 枡一毅助教	§17 前腕の伸側と手背 §20 手の深い層	
9月30日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 枡一毅助教	§21 上肢の血管と神経のま とめ §22 肩の関節とその周辺 §23 ひじの関節 §24 手くびの関節 §25 手と指の関節	
10月4日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 枡一毅助教	§53 下肢の皮静脈と皮神 経 §55 大腿前面の深層 整形外科先生ミニ講義	

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月5日(水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 柘一毅助教	§54 大腿筋膜と大殿筋 §56 殿部の深層 §57 大腿後面の深層	
10月7日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 柘一毅助教	§58 膝窩と下腿後面 §59 下腿の前面と足背 §60 足底	
10月11日 (火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 柘一毅助教	§61 下腿の最深層 §62 膝の関節 §63 足の関節	
10月12日 (水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 柘一毅助教	§29 胸壁 §30 鼠径部と側腹筋群	
10月14日 (金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 柘一毅助教	§31 腹直筋鞘 §32 横筋筋膜と腹膜 §33 臍 §34 腹部内臓の自然位での観察	

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月18日 (火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 柘一毅助教	§35 胸腔を開く §36 胸膜と心膜 §37 肺	
10月19日 (水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 柘一毅助教	§38 くびの根もとの深層 §39 縦隔 §40 心臓の外景	
10月21日 (金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 柘一毅助教	§41 心臓の内景 §42 縦隔の深部	
10月25日 (火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 柘一毅助教	§43 腹部内臓の位置 §44 腹膜と腹膜腔 §45 腹部内臓に分布する 血管と神経	
10月26日 (水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 柘一毅助教	§46 空腸と回腸と結腸 §47 胃 §48 肝臓	

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月28日 (金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 枡一毅助教	§49 十二指腸・膵臓・脾臓 §50 腎臓と副腎	
11月1日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 枡一毅助教	§51 後胸壁と後腹壁 §52 横隔膜と腰神経叢	
11月2日(水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 枡一毅助教	§26 胸腰筋膜と固有背筋 §27 後頭下の筋 §28 脊髄(脊柱管開放)	
11月4日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 枡一毅助教	頭蓋冠切断(技術員対応) §77 脳出し §28 脊髄(取り出し) 腰椎離断	
11月8日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 枡一毅助教	§64 膀胱とその周辺 §65m 男性の外陰部と精 巢 §65f 女性の外陰 §66m 男性の会陰 §66f 女性の会陰 上記に加えて、顔面の解剖 を続け、咽頭後面と甲状腺 の解剖をおこなう。 §74 咽頭 §75 甲状腺と気管 §76 喉頭 頭部離断作業開始	

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月9日(水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授 佐藤洋一教授 齋野朝幸教授 燕軍准教授 中野真人助教 柘一毅助教	§67 骨盤の切半 §68m 男性の骨盤内臓の位置 §68f 女性の骨盤内臓の位置 §69 骨盤の血管と神経 §70m 男性の骨盤内臓 §70f 女性の骨盤内臓 §71 骨盤壁の筋と股関節 ≪医学部との合同はここまで≫(パーティションで仕切る)	
11月11日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授	口腔、舌、翼突下顎隙 脳外面、脳硬膜 脳の血管、 脳神経	
11月30日(水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授	眼窩、眼球 脳幹と小脳、橋と延髄	
12月2日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授	鼻腔、軟口蓋、硬口蓋 咽頭、喉頭、甲状腺、気管 大脳の断面(正中矢状断面、水平断面、前額断面) 脳室	
12月6日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授	咀嚼筋(咬筋と側頭筋) 顎関節、顎関節静脈叢	
12月7日(水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授	咀嚼筋(外側翼突筋、内側翼突筋)、翼突筋静脈叢、 内頸静脈の枝と下顎後静脈	
12月9日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授	側頭下窩 顎動脈、外頸動脈の枝のまとめ 大脳の断面(正中矢状断面、水平断面、前額断面) 脳室	
12月13日(火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授	舌下神経管、頸静脈孔の剖出 舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経	

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月14日 (水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授	外耳、中耳の剖出 耳介、耳小骨、乳突蜂巣、 鼓索神経	
12月16日 (金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授	内耳 聴覚平衡器官と顔面神経 管	
12月20日 (火) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授	鼓索神経の走行 脳断面において大脳神経 核	
12月21日 (水) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授	翼口蓋窩、翼口蓋神経節 脳幹、小脳、脊髄の断面 <u>体幹のみ納棺</u>	
1月6日(金) 3、4限	藤村朗教授 安藤禎紀講師 藤原尚樹准教授	上顎神経、上歯神経叢 下顎神経、耳神経節、下歯 槽神経、下歯神経叢 <u>最終的な納棺</u> <u>「解剖学への招待」配布</u>	

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	図説口腔解剖学 1～5 巻	上條雍彦 著	アナトーム社	2006 年
教	口腔顎顔面解剖ノート	藤村朗ほか編、井出吉信 監修	学建書院	2014 年
教	ヴォルフ カラー 人体解剖学図譜	Petra Köpf・Maier、井上貴央 編	西村書店	2011 年
教	解剖実習の手びき 第 11 版	寺田春水、藤田恒夫	南山堂	2004 年
参	口腔解剖学	井出吉信ほか編	医歯薬出版	2009 年
参	分担 解剖学 改訂 11 版 全 3 巻	森於菟ほか著	金原出版	1982 年
参	日本人体解剖学 19 版 全 2 巻	金子丑之助 原著	南山堂	2000 年
参	Gray's Anatomy for Students 3 rd ed	Richard Drake, A. Wayne Vogl ほか著	Churchill Livingstone / Elsevier	2015 年
参	マーティン カラー 神経解剖学 第 4 版	ジョン・H・マーティン	西村書店	2015 年

成績評価方法

講義と実習を総合して合計が 65 点以上を合格とする。

内訳：到達度試験（骨学・筋学・脈管学・神経学：40%）、前期試験（20%）、後期試験・実習試験（30%）、講義・実習における各節ごとに課すスケッチ・ポートフォリオ・提出物等（10%）とする。

授業に使用する機械・器具と使用目的

[解剖学]

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的	
めがね不要立体映像表示器	NSL CD2000-5	1	基礎実習・研究用機器	実習において、映像を立体的に把握させるのに用いる。
電子複写機	MEDIO IR3300F	1	基礎実習・研究用機器	講義の資料の作成
高精細デジタルフィルムレコーダー一式	PERSONAL LFR PRO	1	視聴覚用機器	講義のプレゼンテーション用
ネットワークアタッチドストレージシステム一式	NAS PNS403-1000	1	基礎実習・研究用機器	講義資料の一括管理と資料の作成
デジタルマイクروسコープ一式	DS-3UX	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料提示用
顕微鏡用デジタルカメラ一式	DS-5Mc-U2 他	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成と提示用
パソコン	MA970J/A ZOEM	1	基礎実習・研究用機器	講義の視覚素材資料作成
大型2周波超音波洗浄器	7-5648-12	1	基礎実習・研究用機器	解剖実習器材の洗浄
デジタル一眼レフカメラ一式	D700	1	基礎実習・研究用機器	解剖実習遺体の破格症例の画像記録
パソコン一式	XPS730	1	基礎実習・研究用機器	解剖実習遺体の破格症例のデータ保存及び画像処理 切片からの3D再構築・画像作成
ハードディスク	HDL-GTR3.0	1	基礎実習・研究用機器	解剖実習の画像データ一括保存
A3スキャナ	ES-10000G	1	基礎実習・研究用機器	大型切片画像データの入力
Smart-UPS 750 ClubAPC 限定モデル	SUA750JBCL	1	基礎実習・研究用機器	講義及び研究データ保存用
冷蔵庫	SR361T	1	基礎実習・研究用機器	実験・実習試料及び試薬の保存
ノートパソコン一式	CFS9LYFEDR	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料提示用
デジタルマイクروسコープ	VHX-1000/10 20	1	基礎実習・研究用機器	実験・実習資料のデジタルデータ採取・保存。講義での供覧
画像連結システム一式		1	基礎実習・研究用機器	大割切片の撮影、タイリング像の作成
デスクトップパソコン一式	B4F75PA_ABJ	1	基礎実習・研究用機器	大容量画像の処理、立体再構築像作成
3次元カラー造形機 Z Printer450 一式		1	基礎実習・研究用機器	CT 3D 画像の実体化による講義のため
バイオメディカルフリーザー	MDF-U539	1	基礎実習・研究用機器	実験、実習資料および試薬の保存、その取扱い実習の実習